

第四回 住宅分野における建設技能者の持続確保懇談会

一般社団法人 日本ログハウス協会 2025年8月6日

一般社団法人 日本ログハウス協会

- 日本ログハウス協会は、日本におけるログハウスの普及と健全な発展を図り、国民生活の向上に寄与することを目的とし設立された。
- 協会ではログハウスの品質・性能の向上、生産の合理化等を推進するための活動を通じて、ログハウスの振興及び関連産業の発展に努めている。

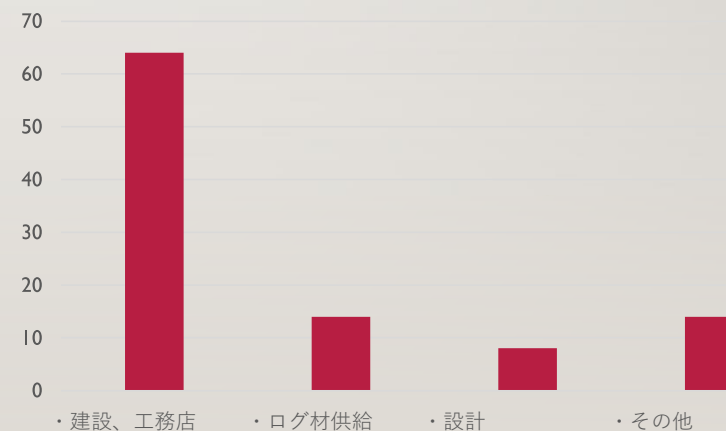
会員概要

- 会員総数：107社

- 業態分類

・ 建設会社、工務店	64%
・ ログ材供給	14%
・ 設計事務所	8%
・ その他	14%

業態分類



住宅建設技能者の担い手不足にかかる現状・課題、 目指すべき姿について

技能者の現状

- 日本人：男性（高齢化）・女性（少数）
- 外国人技能実習生（少数）
- 在来工法などの大工がログ大工を兼務が多い

課題

- ログハウス工法は
 - ・ハンドカットログハウス（丸太材をチェーンソー加工し組み上げる）
 - ・マシンカットログハウス（プレカット材を組み上げる）
- ログ壁以外は在来工法やツーバイフォー工法による施工方法となり、複数工法の技術取得が必要。

目指すべき姿

木材知識全般、丸太材（乾燥収縮・加工技術）、プレカット材料の施工知識や建築大工としての技術がすべてわかる技術者



現在、業界として（団体として）取組んでいること

- 1：認定ログビルダー試験の開催
- 2：認定ログビルダー上位資格の検討（認定ログビルダー棟梁）
- 3：ログハウス協会の技術委員会内にて大工育成方法を検討
- 4：ログスクールを通じてログ大工ニーズの掘り起こし（協会関係：信濃町・富良野）

ログスクール：参加者はログハウスを自分で作りたい（セルフビルド）や、
今後加工技術を習得しログビルダー事業を行いたい林業家
（チェーンソー）など

認定ログビルダー試験講習 基幹登録技能者レベル3

- 登録者数：135名（ハンドカット43名・マシンカット92名）
- 講習内容
 - 学科 1：建築法令 2：施工管理 3：労働安全 4：木材性質・ログメンテナンス
 - 5：基幹登録技能者レベル4 概要説明
 - 実技 ハンドカット・マシンカット

認定ログビルダー試験写真 集合・学科講習 (1)



認定ログビルダー試験写真 マシンカット (2)



認定ログビルダー試験写真 ハンドカット (3)



近い未来（約10年後）に向け、業界（団体）として取り組むべきこと

- 1：協会会員に対し、社員大工育成の具体的な推進方法を提示
- 2：賃金向上と雇用・育成体制・整備方法を提示
- 3：専門学校や工業高校に対し、ログハウス大工の魅力発信(ログ大工体験会開催)
- 4：外国人大工の採用推進
- 5：社員大工 各種手当（危険作業時など）の支給を推進
- 6：外注大工 日当に含まれていた必要経費（交通費、駐車場、その他）を、
別途手当としての支給を推進

2050年に向け、業界として（団体として）取り組むべきこと

- 1：新人大工の育成を支援
- 2：CCUSの義務化と賃金保障制度の確立